

# 令和2年度 第1回 成田市立図書館協議会 会議概要

## 1 開催日時

令和2年7月30日(木) 午前10時～正午

## 2 開催場所

成田市赤坂1-1-3  
成田市立図書館 2階集会室

## 3 出席者

(委員)

野村委員長、半田副委員長、日暮委員、軸屋委員、伏木委員、宮下委員  
(事務局)

関川教育長、田中参事、伊藤図書館長、巻嶋館長補佐、濱田主幹、  
米田主幹、山下資料係長、奥村奉仕係長、村上主査

## 4 議題

- (1) 令和元年度図書館事業報告について
- (2) 令和元年度決算報告について
- (3) 令和2年度図書館事業計画について
- (4) 令和2年度予算について
- (5) 図書館サービス計画について
- (6) その他

## 5 議事(要旨) 議長：野村委員長

- 議題(1)「令和元年度図書館事業報告について」及び議題(2)「令和元年度決算報告について」事務局から説明を行い、承認を得た。
- 議題(3)「令和2年度図書館事業計画について」及び議題(4)「令和2年度予算について」事務局から説明を行い、承認を得た。

### 【委員からの意見・質問等】

#### 【野村委員長】

「ステイホーム応援！子ども図書便」については非常に反響が大きく他の自治体から電話を頂いた。司書のおすすめ本が非常に良かった。今回の件は、次回から読みたい本があれば司書に相談できるという事のきっかけになった。

#### 【軸屋委員】

司書に名札はついているのか。

#### 【伊藤図書館長】

司書としての目印や司書職固定の名札はない。

#### 【軸屋委員】

質問をした場合、どの職員も回答できるという事でよいのか

**【田中参事】**

常に司書が在席する『本の相談』という窓口がある。窓口に出る職員の中で分かるようにするという事はいいと思う。今後、検討させて頂く。

**【野村委員長】**

今回の件で、本を借りた子は司書に対してすごく身近に感じている。職員を見たときに司書であることが分かるような、色やマーク等の分かりやすい物を身につけるといふ工夫をすることで、より司書との距離が縮まっていいと思う。

**【伏木委員】**

絵本の読み聞かせ講座の参加者が、通常30名程度のところ今年度は4名というの少なすぎるのではないか。

**【濱田主幹】**

コロナの影響で参加申込が少なかった。

**【宮下委員】**

再度、緊急事態宣言が発出された場合、もっと早い時期に予約受取りのサービスを行う事は可能なのか。

**【伊藤図書館長】**

予約受取りサービスについては、前向きに検討していきたいとは考えているが、約束はできない状況である。

**【野村委員長】**

段階的なサービスの再開について、60分程度での利用に関し、この状況の中で困っている事はあるか。

**【巻嶋館長補佐】**

館内に、短時間での利用をお願いするポスターの掲示と、感染症対策の放送を2時間置きに行い、ご協力をお願いしている。今のところトラブルはない。

- 議題（5）「図書館サービス計画について」事務局から第1章から第6章までの内容を説明し、意見・感想をいただいた。

第1章、第2章

**【委員からの意見・感想等】**

**【半田副委員長】**

基本目標と計画案の関係、基本目標を実現させるための更なる計画案なのか、基本目標とサービス計画の関係を教えてもらいたい。

**【米田主幹】**

昭和54年に定めた今までの基本目標を見直し、第3章にまとめているように新たなる使命、基本方針を定め、それを基にサービス計画を策定するという考えになっている。

第3章、第4章

**【委員からの意見・感想等】**

**【野村委員長】**

生涯にわたる学習の場や、市民が自分の居場所として集い、憩い、学べる場というのは、現在の図書館のスペースで実施する事を想定しているのか。活動を

支援するのに資料提供というところで止まるのか、スペース的に部屋を貸し出したりするところまで考えていくのか。

**【米田主幹】**

一つは、図書館が36年目を迎えていて大規模改修等が必要となっており、それも見据えた形での計画である。

**【関川教育長】**

成田市の図書館として、こういうサービスを提供していきたいという計画なわけで、この建物の中で出来るサービスと出来ないサービスがあるかもしれないが、出来るようにしていきたいというのが我々の願いである。このサービス計画の10年間の間に、何とかなればいいなという思いを込めて作っている。

第5章、第6章

**【委員からの意見・感想等】**

**【野村委員長】**

多文化や多言語に関わる資料にも少し力を入れてもらえれば国際都市らしいかなと思う。

**【田中参事】**

必要性は理解しているが、様々な国の資料を収集するのは非常に困難なので、今後も考えなければいけない。サービス計画の中で、実施・検討する事項としている。

○ 議題（6）「その他」として、委員から意見をいただいた。

**【委員からの意見・感想等】**

**【野村委員長】**

公民館図書室を利用した際に対応した職員に関して、接客した職員によって非常に温度差がある。接客の際のマニュアルを各分館に置いてもらう等、何らかの工夫をして改善していかないと、図書館の印象が悪くなってしまう。

**【濱田主幹】**

各公民館図書室では、図書館のサービスを公民館の会計年度任用職員、シルバー人材センターの方々に、毎年度研修をして貸出や登録等の図書館への連絡をお願いしている。

**【関川教育長】**

会計年度任用職員であっても、他の公務員と同じように対応できなければいけないわけで、謙虚に受け止め、公民館であろうと図書館であろうと、お客様を迎えるには、どのように対応したらいいか、私の方からも教育委員会並びに、公民館によく伝え、お客様の気持ちを害する事のないように努めて参りたい。

5 その他

令和元年度図書館事業報告に関連し令和2年3月議会の一般質問における星野議員からの質問に関する報告を行った。

質問の趣旨：子どもの読書と図書館の未来

- ・図書館の方向性について
- ・子どもの読書について

- ・読書と健康寿命について
- ・図書館の長寿命化について

## 6 傍 聴

傍聴者 2人

## 7 次回開催日時（予定）

令和3年1月下旬